

「悲しみから笑顔に変えることが出来る仕事」

お葬式の仕事は母方から代々継がれており、母親や祖父、祖母が手伝っていた事もあり、自分が幼いころから身近なものでした。そしてお客様の喜ぶ様子や、母の仕事に対する姿勢を見て、自分も将来はこの仕事をしてみたいとぼんやりと考えるようになっていました。

しかし、大学卒業後、就職したのは結婚式場やレストランを運営・企画するPlan・Do・Seeという会社です。他業界での就職経験をしてみたいという興味もあり実家ではなくプライダル業界へ進むことにしました。

そしてウエディングプランナーという職業と職場が大好きになりました。ここで一緒に働くスタッフ、雰囲気、サービスなどすべてに愛情を感じ、お客様に対する姿勢、スタッフを想う気持ち、人としてどうあるべきか、本当に多くのことを学ばせて貰いました。

企業の行動指針に掲げる「I am one of the customers」も自分がおお客様の立場だったなら、という言葉。常におお客様の立場になって考え、また、自分がおお客様の立場だったならどう感じるのか、という考え方が今でも大好きな言葉です。

毎日がやりがいと充実さを感じていた、27歳の時。

一本の電話が鳴り、母親が慕っていた方が亡くなったと連絡を受けました。その方の存在は、母親にとっても自分にとっても大きな存在。

母親とは職場が違っても、電話などでよくやり取りしており、仕事の状況なども聞いていました。当時は、母が打ち合わせを行い、深夜の搬送も全て1人で行っているような状況。この出来事をきっかけに、身体的、精神的にも母を助けたいと思い、お葬式の仕事を手伝う事を決意しました。

お葬式には悲しいという事だけではなく、良いお見送りが出来たと感じたお客様は本当に満足してくださり、「ありがとうございました」

「良いお葬式ができて良かった」と涙しながらも笑顔で言って頂けます。

お葬式の仕事とは、「悲しみから笑顔に変えることが出来る仕事」なんだと私は思います。

後悔のないお葬式。満足のいくお葬式。言葉で言ってしまうは簡単です。

だからこそ、前職から自分が好きだった言葉を大事にしています。

「I am one of the customers」もし自分がおお客様の立場だったなら。

「悲しみから笑顔に」そしてお客様からありがとうをいただける、それが一番自分にとっての喜びです。



The mission of kawasousaisha

世界に一つだけのお別れの刻を 手作りいたします。

水田 憲

1986年7月7日生まれ

三本松にて2人兄弟の次男として生まれる。

プロ野球選手に憧れ、小学生から野球を始める。中学時代には県大会で優勝。

高校は地元の三本松高校に進学し県大会で3度優勝するも甲子園出場は逃す。

Ken Mizuta

大学進学後も野球を続け、阪神大学野球連盟の選抜選手に選ばれ、海外遠征を経験。

4年間で通算26勝を挙げ、公式記録の上位10人に名前を残す。

その後、人材会社のマイナビ、プライダルのPlan・Do・Seeを経験し、現在に至る。